

# YAMAKADO NEWSLETTER

NO.122

2010/01/15

山門水源の森を次の  
世代に引き継ぐ会

2010年も  
よろしくおしま～す



## COP10の年・生物多様性保全活動一段の飛躍を！

「守護岩初詣」下山後復元北部湿原にて (10/01/01)



固定カメラが捉えたシカ (09/12/26 23:18)

今冬は「暖冬」との長期予報は大きくはずれ、近年希な大雪で新年を迎えました。今年も例年以上の成果と活動の安全を祈願すべく「守護岩詣で」をつつがなく終了しました。活動の成果同様初詣参加者も年々増加し心強い限りです。

さて本年は、10月に名古屋で「生物多様性条約第10回締約国会議」(COP10)が開催されるという節目の年でもあります。加えて本会発足10周年というこれ又大きな節目の年です。この10年間に想定外の成果を上げることができましたが、これからはこの実績を土台に「どのように次の世代に引き継ぐか」を真剣に議論しつつ、実践に踏み出したいものです。

**固定カメラの威力発揮** 前号でも固定カメラによるニホンジカ・イノシシ等の画像が得られたことを報告しましたが、降雪後も雪上を移動するニホンジカとその行跡がくっきりととらえられました。

**ニホンカモシカの死** 北部湿原でニホンカモシカの遺体が見つかりました。特別天然記念物であるため大きさ等を測定して滋賀県に報告をしました。遺体は融雪が進んだ段階で埋葬する予定です。現在は積雪の下です。



ニホンカモシカの遺体 (10/01/05)



頭部



脚部

積雪期の入山は、完全な冬装備でお出かけ下さい。

「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」

<http://www.digitalsolution.co.jp/nature/yamakado/>



**中央湿原復元完了も間近**

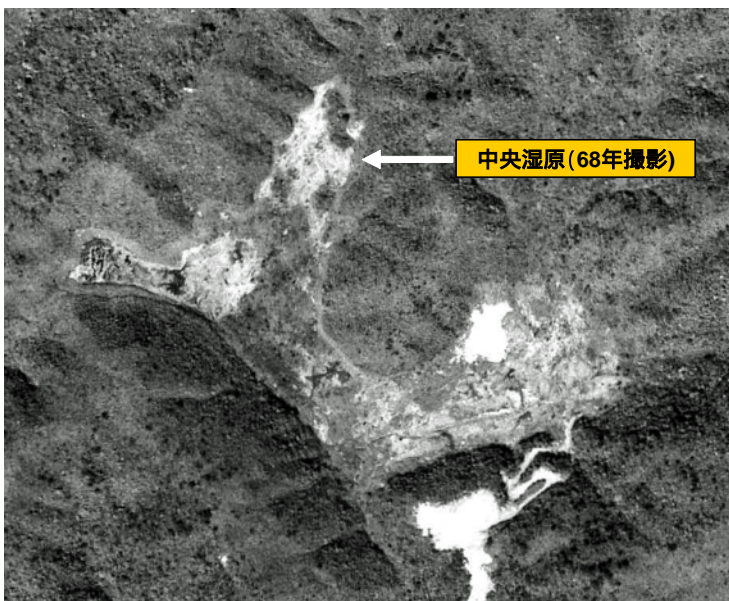
北部湿原同様中央湿原も 1960 年代中頃に芝栽培をすべく人為的  
改変が行われましたことは、1968 年撮影の国土地理院の空中写真で



2008年12月26日の中央湿原



2009年12月27日の中央湿原



中央湿原(68年撮影)



刈り払い中の中央湿原(09/12/01)



刈り払いしたものの集積(09/12/14)

確認することができます。北部湿原の復元によって湿地性生物が再生していることは既報の通りである。中央湿原も生物多様性の観点から復元作業を 11 月下旬から実施しています。刈り払い作業はほぼ完了しました。あとは刈り払いしたものを湿原外へ移動する作業が残っています。予期せぬ大雪でこの作業は中断を余儀なくされています。できれば 2010 年総会の翌日には、多くの会員の参加を得て一気に完成したいものと思っています。復元成った今夏には北部湿原同様多様な生物が賑やかに活動することを夢見て

頑張りたいものです。この作業が終了すると、湿原の復元作業は一段落です。今後は、ササ等の刈り払い続くものの調査が主な活動になります。



積雪で壊んだミヤマウメドキと北部湿原の中央湿原(10/01/13)



「守護岩初詣」で保全活動の進展を祈願して乾杯！(10/01/01)

**沢コースは、凍結で滑落の恐れがあります。厳重注意！！**